

[028] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9901>

出版情報：中国文学論集. 28, 1999-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

『中国文学論集』第二十八号をお届け致します。本号は、山口大学の阿部先生、広島女子大学の柳川先生より玉稿をお寄せ戴きました。また、胡・呉の両氏には博士論文の一部をご寄稿戴きました。さらに、大学院在学中の角田・蕭・王・垣見・河野諸君の論文を加え、竹村先生の『長生殿』訳注(三)を掲載しております。

今年のご投稿下さった会員がことのほか多く、編集担当者としては喜びに耐えません。そして、本号の目次からお分かりのように、執筆者の論考テーマは、時代は六朝から近代に及び、その内容も詩文から小説戯曲・民間説唱文学に亘って、実に豊富多彩であります。阿部・柳川両先生の該博な考証による力作をはじめ、若手諸君の一読に値する意欲的な論文がそろい、一七〇ページを超える厚冊となりました。この厚みに、当文学会の意気を十分に示すことができたのではないかと思います。

二十世紀に別れを告げようとしている今、我々は先学の築かれた伝統と業績を顧みて、歴史の重さと伝統の深さを感じつつ、一層の努力を重ねるべく決意を新たにしているところです。二十一世紀には、時代の流れに伴い、大学のあり方や組織の名称なども変化してゆくかもしれません。しかし、伝統文化を尊重し、すぐれた文学作品を鑑賞し、また研究していく態度はいつまでも変わらなはずです。中国文学を愛し、研究を志す会員の皆様のご研鑽とご協力によって、当文学会の研究活動は、世紀を超えてさらに発展していくことと堅く信じます。

(黄 冬柏記)